

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		千葉工業大学		設置者名		学校法人 千葉工業大学		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成20年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業生数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
工学部	機械サイエンス学科	315人	中一種免(数学)	平成15年度	325人	3人	1人	0人
			高一種免(数学)	平成15年度			1人	
			高一種免(工業)	平成15年度			3人	
	電気電子情報工学科	300人	中一種免(数学)	平成15年度	286人	4人	2人	2人
			高一種免(数学)	平成15年度			4人	
			高一種免(情報)	平成15年度			1人	
			高一種免(工業)	平成15年度			2人	
	生命環境科学科	230人	中一種免(数学)	平成15年度	245人	18人	0人	7人
			中一種免(理科)	平成15年度			16人	
			高一種免(数学)	平成15年度			0人	
			高一種免(理科)	平成15年度			18人	
	建築都市環境学科	300人	中一種免(数学)	平成15年度	299人	4人	1人	0人
			中一種免(理科)	平成15年度			2人	
			高一種免(数学)	平成15年度			1人	
高一種免(理科)			平成15年度	2人				
高一種免(工業)			平成15年度	1人				
デザイン科学科	180人	高一種免(工業)	平成15年度	171人	0人	0人	0人	
未来ロボティクス学科	110人	高一種免(工業)	平成19年度	0人	0人	0人	0人	
情報科学部	情報工学科	140人	中一種免(数学)	平成13年度	120人	3人	1人	2人
			高一種免(数学)	平成13年度			1人	
			高一種免(情報)	平成13年度			2人	
	情報ネットワーク学科	140人	中一種免(数学)	平成13年度	147人	2人	1人	1人
高一種免(数学)	平成13年度	2人						
高一種免(情報)	平成13年度	1人						
社会システム科学部	経営情報科学科	110人	中一種免(数学)	平成17年度	135人	7人	0人	0人
			高一種免(数学)	平成17年度			0人	
			高一種免(工業)	平成17年度			5人	
			高一種免(商業)	平成13年度			6人	
	プロジェクトマネジメント学科	110人	中一種免(数学)	平成20年度	153人	0人	0人	0人
			高一種免(数学)	平成20年度			0人	
高一種免(情報)			平成20年度	0人				
入学定員合計		1,935人	合計		1,881人	41人	74人	12人

大学名	千葉工業大学(大学院)		設置者名	学校法人 千葉工業大学				
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成20年度)			
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
工学研究科	機械サイエンス専攻	80人	高専修免(工業)	平成16年度	39人	2人	2人	1人
	電気電子情報工学専攻	70人	高専修免(工業)	平成16年度	49人	2人	2人	0人
	生命環境科学専攻	80人	中専修免(理科)	平成19年度	45人	2人	1人	0人
			高専修免(理科)	平成19年度			2人	
	建築都市環境学専攻	80人	高専修免(工業)	平成16年度	26人	1人	1人	0人
デザイン科学専攻	40人	高専修免(工業)	平成16年度	13人	0人	0人	0人	
情報科学研究科	情報科学専攻	70人	中専修免(数学)	平成16年度	21人	0人	0人	0人
			高専修免(数学)	平成16年度			0人	
社会システム科学研究科	マネジメント工学専攻	40人	高専修免(工業)	平成16年度	12人	0人	0人	0人
入学定員合計		460人	合計		205人	7人	8人	1人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成21年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄には各学科等の実人数を、「個別」欄には各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

# 実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成21年5月30日（土）

実地視察大学：千葉工業大学

実地視察委員：渋谷治美委員、八尾坂修委員

## ■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

### <状況>

- ・3学部10学科で教員養成を行っている。
- ・教員養成に関する教育課程、教員組織等については、基準を満たしており、全般的に充実している。

### <講評>

- ・基礎学力試験や教員養成のための能力チェックを取り入れているなど、質の高い教員の養成を行っており、理系の一般私学大学の教員養成としては教職課程の運営に対して熱心に取り組んでおり、全般的に高く評価できる。
- ・特色ある教員養成の取組を活かして、地元地域への貢献を果たしてほしい。
- ・今後も質の高い理工系教員の輩出に力を入れ、リーダーシップがとれる教員の輩出など、さらなる充実を図ってほしい。

## ■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

### <状況>

- ・建学の精神である「師弟同行」[きめ細かい指導体制（教員は学生の目線に立ち、学生と一体になって学問に携わること）]及び「自学自律」[創造性豊かな人材の育成（自ら学び、思索し、創造し、解決する力を養う）]の理念・精神のもとに教員養成を行っている。
- ・教育目標である「科学技術の厳しい変化に対応できるしっかりした基礎学力をもつ学生（人材）の育成」のもと、しっかりした基礎学力と現代の科学技術に対応する工学的専門知識を修得させ、かつ教職教養を修得させることにより、中等教育の教員として後進の育成にあたる人材の養成を行っている。

### <講評>

- ・建学の精神と教員養成の理念とがマッチしており、建学の精神の浸透のため、全教室に建学の精神を記述した張り紙を設置しているなど、具体的な取組が見られる。
- ・教員養成に対する理念・構想をより明確化、具体化するため、一層の全学的な組織・取組の充実を行ってほしい。

## ■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

### <状況>

- ・教員によっては、成績評価として出席を過大に評価している。
- ・法令上含めることと定められている必要事項が、授業科目によっては明確に示されていないシラバスが見られる。

<講評>

- ・教職の授業として、授業に出席するのは当然のことであるため、出席のみで加点するような評価方法を見直すこと。
- ・法令で定める事項が各授業科目に含められているかどうかを含めて、授業科目内容を全体的に確認すること。
- ・シラバスの様式については全学的な統一を図ってほしい。
- ・例えば、小学校・中学校などの現場体験を単位化するなど、学校現場で必要とされている知識・技能を身につけさせる授業科目を開設してほしい。

■ 教育実習の取組状況

<状況>

- ・実習校の確保においては、基本的に実習生の出身学校に依頼している。
- ・訪問指導として、近隣の実習校への大学教員の参加及び実習関係書類の考察などを行っている。
- ・教育実習の受講資格について、実習に参加させるに必要な資質能力が備わっているか精査している。
- ・教育実習前に行った模擬授業を映像として残し、そのモニタリング及び他の学生等との相互講評を行った上で実習に臨ませている。
- ・実習事前指導等で、天体観測や実験活動の指導を個別に行っている。

<講評>

- ・教育実習に関する特色ある取組は評価できる。
- ・近隣の教育委員会との連携を充実して、出身校以外の実習校の確保などを行ってほしい。

■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

- ・県教育委員会主催「千葉県・千葉市教職インターンシップ」への学生派遣を実施している。
- ・県主催の理科支援員、市主催学習サポーターへの学生派遣に関して、学生の取り組みを勧めている。
- ・介護等体験前の事前指導を単位化し、授業科目として行っている。

<講評>

- ・介護等体験前の事前指導を単位化していることは評価できる。
- ・今後も教育委員会と連携を図って、様々な取組を行ってほしい。

■ 教職指導及びその指導体制の状況

<状況>

- ・教職課程専任教員が、個別に学生に対して指導を行っており、個別相談が多い。
- ・全学的な履修指導体制は確立しておらず、定期的な説明会と個別指導が中心となっている。
- ・教員免許取得者のおよそ3分の1が教員として就職している。

<講評>

- ・全学的な履修指導体制を確立してほしい。
- ・多くの教員就職者を輩出していることは評価できる。今後も教員免許状の取得者を増加させ、教職に関する情報の発信の充実を図ってほしい。
- ・学生に対して、教職の意義などを十分に伝えるようにしてほしい。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

- ・教職課程の質の向上や学生に対する責任ある教職指導の実現に向け、学長直属の組織として教職課程運営委員会が機能している。
- ・構成員としては、学長の任命で選出された教職に関する科目(教職科目)担当者4名(うち1名が委員長・2名が副委員長)と免許状の教科を代表する数学・理科・工業・情報・商業関係の学科・教育センターに所属する教員11名と事務局員2名を加え、合計13名から成り立っており、年数回の会議が開催されている。会議には教務課職員も委員として参加し、教職課程の運営が事務的にも円滑に進むような協力体制がとられている。また、この委員会委員のうち1名以上が教務委員会委員になることで、全学的な教務関係との連携も図られている。

■ 施設・設備(図書等を含む。)の状況

<状況>

- ・教職に関する科目の図書等の冊数は、5,254冊となっている。
- ・コンピュータ等は、690台備えられている
- ・コンピュータ等の設備状況については、個々人所有のパソコンを使用できるよう施設を整備しており、大学所有のパソコンの設置状況を補う働きを果たしている。

<講評>

- ・キャリアセンターの中に教職支援室を位置づけることや、学校現場を退職した校長などを教職支援室に常駐させることなど、教員を目指す者に対する施設の充実を図ってほしい。
- ・図書等について、最新のものが少ないため、充実を図ってほしい。